



海外留学でよくあるお悩み

Q. イギリス進学に必要なIELTSについて教えてください

A. IELTSの概要を紹介します

詳しいアドバイス

イギリス大学を考えている方、留学ビザ取得するには、英語のテストを受け英語力を証明する必要があります。その必須のテストがIELTS(International English Language Testing System)です。
この資料はIELTSの試験概要を説明します。

イギリス留学ではTOEIC・TOEFLスコアが原則使用不可

英語のテストと言えば、日本では英検や TOEIC、TOEFLが有名ですが、2014年4月イギリスホームオフィスは、「ETS(Educational Training Service)管轄のTOEIC・TOEFLテストのスコアはイギリスの大学留学申請時の英語力証明で有効でなくなった」との意向を示しました。

それまでは、TOEIC・TOEFLのスコアを提出し、大学側より Unconditional Letter(無条件に入学できる証明書)を発行してもらうことが可能でしたが、変更後、IELTSのスコアが Unconditional Letter発行の基準となりました。

※TOEIC・TOEFLのスコアについては、大学側へ英語力の参考として提出することは可能です。つまり一部の大学で出願には使えます。

IELTSは英語の総合力を測定するテスト

IELTSは、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのセクションに分かれています。

大学入学には、それぞれセクションでの最低スコアが決められており、それぞれのセクションの最低スコアクリアし、オーバーオールスコア(全体の平均スコア)にも達している必要があります。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にのみ提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。
また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。 © (株)留学情報館 All Right Reserved





海外留学でよくあるお悩み

試験の合計時間は2時間45分。リスニング、リーディング、ライティングは同日に行われ、途中休憩はありません。

スピーキングテストは試験前後 6日以内に行われます。スピーキングテストの日程については、申し込み後、筆記試験の2週間前に公開されます。

どのくらいスコアが必要？

出願の際には確認する必要がありますが、主な名門大学の必要スコアです。

大学名	Listenig	Reading	Writing	Speaking	Overall
オックスフォード大学	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
ケンブリッジ大学	7.0	6.5	7.0	6.0	7.0
ロンドン大学	6.0	6.0	6.0	6.0	7.0
エジンバラ大学	5.5	5.5	5.5	5.5	6.5

(※2016年11月現在)

どのくらいスコアが必要？

IELTS申し込みについての詳しい情報(申し込み方法や試験会場、試験日など)は、「日本英語検定協会のウェブサイト」から確認できます。多くの留学生が IELTSテストを一回でクリアできず、何度かチャレンジしています。テストに関する最新情報が掲載されているので、随時チェックしておきましょう。

IELTSは知名度がグングン上がっています

イギリスだけでなく、オーストラリア、ニュージーランド、カナダのほぼすべての高等教育機関で認められているテストです。また、アメリカでも認める大学が多くなってきました。その為、イギリス留学を考えている人はもちろん、他の国への留学を考えている人にも受けておくメリットのあるテスト。

IELTS受験者は年々増加しており、現在では世界で年間 250万人が受験しています。日本では、全国 14 か所で開催されています。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にのみ提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。© 留學情報館 All Right Reserved

